

令和8年度 入学者選抜学力試験問題
聖徳大学／聖徳大学短期大学部
(A日程1)

国 語

(注 意 事 項)

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 『国語』は第一問と第二問を解答してください。ただし、受験学科が文学部文学科の人は、第一問を必須、第二問(近代以降の文章)、第三問(古文)のうちいずれか1問を選択し、計2問を解答してください。
3. 試験開始の合図があったら、問題冊子3部(「国語(この冊子)」、「英語」、「その他の科目」の計3部)、マーク式解答用紙(2科目受験：2枚、1科目受験：1枚)があるか確認してください。ページの欠落や乱れ、または印刷の不鮮明な箇所があれば監督者に申し出てください。
4. この時間の出題科目等は、下表のとおりです。

出題科目	ページ	解答用紙	選択方式
国 語	2～31 (この冊子)	マーク式	2科目受験の受験者は、受験科目2科目の解答順および解答時間の配分は自由です。 試験開始後にこの表の範囲内で選択科目を選択することも可能です。ただし、学部・学科により指定科目が異なりますので、受験科目を間違えないよう注意してください。 ※「数学Ⅰ、数学A」を解答する場合は、この冊子裏面の解答上の注意も確認してください。この確認は試験開始前に行ってもかまいません。
英 語	2～13 (「英語」の冊子)	マーク式	
数 学Ⅰ，数 学A	2～6 (「その他の科目」冊子)	マーク式	
日 本 史 探 究	8～20 (「その他の科目」冊子)	マーク式	
世 界 史 探 究	22～42 (「その他の科目」冊子)	マーク式	
化 学 基 礎	44～48 (「その他の科目」冊子)	マーク式	
生 物 基 礎	50～57 (「その他の科目」冊子)	マーク式	

5. マーク式解答用紙は、1科目につき1枚を使用してください。マーク式解答用紙は、両面になっています。「数学Ⅰ、数学A」を選択する人は青い色の面を使用し、それ以外の科目を選択する人は赤い色の面を使用してください。使用しない面には何も記入しないでください。
6. 問題冊子およびマーク式解答用紙の指定欄に受験番号、氏名、その他必要事項を記入、またはマークしてください。
7. マーク式解答用紙の注意事項は、必ず読んでからマークしてください。
8. 解答には、HBまたはBの鉛筆(シャープペンシル可)を使用してください。
9. この時間に2科目受験の受験生は2科目選択し、解答してください。1科目受験の受験生は1科目選択し、解答してください。ただし、指定科目数を超えて解答した場合、全科目0点となります。
10. 志望する学部・学科の試験科目については、裏表紙に記載してありますので、必須科目および選択科目を確認のうえ解答してください。学科により指定科目が異なりますので注意してください(確認は試験開始後に行うこと)。

受 験 番 号		氏 名	
--------------------	--	------------	--

国語

必須問題

全員が解答すること。

第一問 次の文章は、渡辺潤「メディアとしてのからだ」の一節である。これを読み、後の設問（問一～八）に答えよ。なお、問題文には設問の都合で省略した箇所や表記を改めた箇所がある。（解答はすべてマークシートに記入すること。）

問一 本文中の傍線部①～⑤に相当する漢字は何か。同じ漢字を含むものを次の各群のア～オのうちから、それぞれ一つずつ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は①〓1、②〓2、③〓3、④〓4、⑤〓5)

①ゼンブク

ア 一日三回フクヨウする。

イ ハンブク横飛びをする。

ウ シブクの関係で割愛する。

エ フクシャ紙の伝票に書く。

オ ボートがテンブクする。

②コウブン

ア 獅子フンジンの活躍。

イ フンソウの絶えない地域。

ウ 裏切りにフンガイする。

エ コフンの発掘が行われる。

オ 大きな岩石をフンサイする。

③チュ

ア クウユで運ばれた荷物。

イ 勝利に心からユエツする。

ウ 高等学校のキョウユ。

エ アンユを使って表現する。

オ 政界と財界のユチャク。

㉔ オダやか

㉕ フクイン

ア オンシとの再会を果たす。

イ 考え方がオントウだ。

ウ 季節柄オンミ大切に。

エ 不正のオンショウとなる。

オ オンリヨウにたたられる。

ア 軽いイントウ炎になる。

イ 声帯を振動させるシン。

ウ 感動のヨインにひたる。

エ インタイ試合を観戦する。

オ 法皇がインセイを行う。

問二 本文中の傍線部A「

」とあるが、筆者はマーフイーがどのようなことを明

らかにしたと考えているか。その説明として最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は [6])

ア 病気になることで、自分の心身に新たな変化が起こるだけでなく、周囲からこれまでとは異なった人格や立場で捉えられてしまうということ。

イ 自分の実感や経験をふまえた分析をすることで、病気になることの意味について、周囲の人々に説得力ある形で示すことができるということ。

ウ 病気の症状そのものよりも、自尊心や自己肯定感が失われ、常に病気に対する激しい怒りが心身を離れないことで、病人が疲弊するということ。

エ 周囲の人びとが病気の存在を否定することは、病人自身を傷つけるだけでなく、社会における定義づけを否定することにつながるということ。

オ 病気によって周囲からこれまでと異なる新たな社会的立場を意味づけられるため、心身ともに身動きできない状況におちいってしまうということ。

問三 本文中の空欄

X

にあてはまる語句は何か。最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選び、その

記号をマークせよ。(解答番号は [7])

問四 本文中の傍線部B「」とあるが、筆者はオーウェルの作品をどのようなものと考えているか。その

説明として最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は8)

ア 自分の嗅覚や触覚から得る実感をもとにリアルさを追求した作品と、自分が単なるものとして扱われた経験を描いた作品という、対照的な作品を残している。

イ 自分が相手の仕事の対象物として扱われた経験を描いた作品だけでなく、自分が相手がある役割としてしか捉えていなかった事実を描いた作品も残している。

ウ 自分のからだが単なる物体としてのみ価値をもつことを意識させられた経験を描いた作品と、自分が相手に対して権力をふりかざした経験を描いた作品がある。

エ 自分にとっての非日常が相手の日常の延長と捉えられた経験と、自分が相手の非日常的経験を日常の職務遂行の一環として捉えた経験を描いた作品がある。

オ 自分のからだが医療従事者に評価された経験を描いた作品とは反対に、自分が相手の本能的な行動を評価し深い感慨を覚えた経験を描いた作品も残している。

問五 本文中の傍線部C「

」とあるが、これはどういうことか。その説明として

最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 9)

ア 「病」は患者にとって感情がゆれやすい経験であるのに対し、医療従事者が対応する「疾患」は日常的な職務の一環として捉えられ、感情をさしはさむ余地がないということ。

イ 患者は「病」によって、痛みや苦しみ、不安や焦りなどのネガティブな感情をもつが、医療従事者は「疾患」を立ち向かい克服すべきものとして前向きに捉えているということ。

ウ 町医者と患者の関係であれば「病」がもたらす心身の不安を理解してくれても、大病院が行う正確な判断は「疾患」として捉えられ、日常業務の一環として処理されるということ。

エ 身体的苦痛のみならず精神的不安も含めた、生全体に関わる経験が「病」なのに対し、医療従事者が対処する「疾患」はからだの変調や不全としてのみ捉えられているということ。

オ 「病」とは患者の苦痛への不安や回復への焦りといった感情的な面を捉えた表現であるが、患者本人と切り離れた「疾患」への対処が医療従事者に求められているということ。

問六 本文中の傍線部D「」の説明として最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選び、その

記号をマークせよ。(解答番号は10)

ア 医療従事者は患者そのものではなく疾患に対処しているという認識をもつことで、周囲の人たちとのコミュニケーションの円滑さを重要視すること。

イ 病気と医療行為のあいだの根本的な断絶を批判することで、病気になったために防御的な態度や警戒心をもつようになった自身を反省すること。

ウ 医療従事者の対応のみを問題にするのではなく、患者自身が病気に対してどのように向き合うかを深く考え、それを周囲に伝えようとする事。

エ 医療に身を任せきるのではなく、医療従事者や周囲の人たちが期待する患者としてのあり方をよく理解し、その期待に応えるよう努力すること。

オ 医療従事者のみならず、家族や友人など支えてくれる人たちの存在に気づき、病気という体験によっておちいる孤独感を解消しようとする事。

問七 この文章の論の進め方の説明として最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は **11**)

ア マーフィーの病気になった際の経験の記録を取り上げたのは、オーウェルが示した医療従事者に対する患者の違和感を、社会的アイデンティティの視点から詳述するためである。

イ オーウェルが入院したときの経験をとり上げることによって、医療従事者と患者がいずれも限定的にしか病気に取り組んでいないというクラインマンの主張が裏づけられている。

ウ マーフィーとフランクは、患者の周囲の人間が患者に対して求めるものを明らかにした点で共通点をもつが、筆者はそれぞれが示した患者側のあるべき姿の相違点に注目している。

エ フランクの文章の中で示された、患者として病気をどう受け入れたかのプロセスを取り上げているのは、クラインマンが示した医療ケアのあり方とつながっているからである。

オ クラインマンが挙げる医療の現状についての認識は病気という特殊な状況においてのものであり、筆者はそれを批判的に取り上げることによって現代の人間関係のあり方を示している。

問八 筆者の渡辺潤はこの文章の続きで、哲学者の鷺田清一の文章を引用している。以下の会話は、筆者の文章

と鷺田清一の文章とともに読んだKさんとLさんのやりとりである。これを読み、以下の空欄 ①

③ にあてはまる語句を、選択肢の中から一つずつ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は① ②、

② ③、③ ④)

Kさん 「二つの本を読み比べて興味深く思った点はどこかな。」

Lさん 「鷺田清一の文章の中で、終末期の患者の」 という言

葉に対して、精神科医がどう答えるかという話が興味深かったよ。本文には、

a 「と励ます。

b 「と答える。

c 「と聞き返す。

d 「と同情を示す。

e 「と返す。

とあって、精神科医のほとんどが、eを選ぶと書いてあったね。」

Kさん 「eは患者の言葉の繰り返しで、なんの答えにもなっていないように思えるけど、患者にとっては、
① ①」ということを実感できる表現なんだね。」

Lさん 「こういう実感が無いと、自分の不安や苦しみの実体は何なのかという自己理解につながらないとあるよ。」

Kさん 「そうだね。だから鷺田清一は、語りを待つひと ② ②の前で、はじめて苦しみを口にできるよ
うになると書いてあるんだ。」

Lさん 「そういう意味では、聴くことは単に ② ②をもつ行為なのではなくて、もっと重要な行為といえ

るわけだ。」

Kさん 「『』ということかというと、渡辺潤の文章に出てくる ③ の指摘にも、つながるところがあるのではないかな。」

Lさん 「『 ③ 』は、治療者にとって重要なのは、病気について患者や家族が物語を語れるように誘導することだ、と指摘しているんだよね。」

Kさん 「ただ、話を聴くことの重要性は患者と治療者の関係に限定されないように思うんだ。」

Lさん 「渡辺潤が」 「と指摘しているのは、そういう意味だろうね。」

空欄 ①

ア 自分が無力ではない

イ 病気の存在を否定する

ウ 周囲の期待に応えられた

エ 普段と同じ生活を送れた

オ 言葉が相手に届いた

空欄 ②

ア 受動性 イ 偶然性 ウ 社交性 エ 独自性

空欄 ③

ア マーフィー イ オーウェル ウ フランク エ クラインマン

選択問題

文学部文学科の受験者は、第二問（近代以降の文章）と第三問（古文）のうち、いずれか一問を選択して解答すること。文学部文学科以外の受験者は、第二問を解答すること。

第二問

次の文章を読み、後の設問（問一～問八）に答えよ。なお、問題文には設問の都合で省略した箇所や、表現や表記を改めた箇所がある。（解答はすべてマークシートに記入すること。）

(中村桃子『自分らしさ』と日本語による)

問一 本文中の傍線部①～⑤に相当する漢字を含むものを、次の各群のア～オの中からそれぞれ一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は①〓15、②〓16、③〓17、④〓18、⑤〓19)

① サ|コク

ア 夏の英国とは八時間のジサ|がある。

イ 鳥取にはサ|キュウがある。

ウ サ|ジュツを用いて人をだます。

エ 事件がレンサ|して起こる。

オ 地獄のサ|タも金次第だ。

② ソ|コウ

ア 大学生としてヒッス|の知識だ。

イ 寝不足は發育をソ|ガイする。

ウ 彼女はス|ジョウが知れない。

エ 高等裁判所にコウソ|する。

オ シンソ|の別なく招待する。

㉔ ヒクツ

ア 犯行をヒニンする。

イ ヤビな言葉を吐く。

ウ 現実からトウヒする。

エ ヒガンには墓参りに行く。

オ 大臣をヒメンする。

㉕ ユウセイ

ア セイキユウに結論を出す。

イ キヨセイを張って威張る。

ウ 仕事をセイリヨク的にこなす。

エ 大軍をひきいてエンセイする。

オ イッセイ取り締まりが行われる。

㉖ キュウム

ア 船にはキユウメイ胴衣が備え付けてある。

イ 久しぶりにキユウコウをあたたためる。

ウ ヨウキユウしたいのは賃上げだ。

エ 鳥取県にはサキユウがある。

オ カンキユウ自在の投球だ。

問二 本文中の空欄 ① ・ ② ・ ③ に入る語句は何か。その組み合わせとして最も適当なものを

次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 20)

- | | | | |
|---|------------------------|------------------------|------------------------|
| ア | <input type="text"/> ① | <input type="text"/> ② | <input type="text"/> ③ |
| イ | <input type="text"/> ① | <input type="text"/> ② | <input type="text"/> ③ |
| ウ | <input type="text"/> ① | <input type="text"/> ② | <input type="text"/> ③ |
| エ | <input type="text"/> ① | <input type="text"/> ② | <input type="text"/> ③ |
| オ | <input type="text"/> ① | <input type="text"/> ② | <input type="text"/> ③ |

問三 本文中の傍線部 A 「 」とあるが、その趣旨に合致するものとして最も適当なものを次のア

～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 21)

- ア 豊かな地域語があるのに、拙速に東京語を標準語とした決定にはあきれるほかない。
- イ 学歴を必要以上に重視する悪しき慣習が、標準語の選び方に影響してしまった。
- ウ どんなことばを標準語にするかが決められた事情は、実は単純なことである。
- エ 活気ある下町の人々のことばを標準語から外したのは、もったいないことだ。
- オ 女性の使うことばを標準語から排除したのは、差別的な判断である。

問四 本文中の空欄 X ・ Y には、それぞれどんな文が入るか。最も適当なものを次のア～カの中か

ら一つずつ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は X 22、 Y 23)

カ オ エ ウ イ ア

問五 本文中の傍線部B「

」とあるが、どういうことか。

その説明として最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は24)

ア 出身地のことばがたまたま前近代的な言語だったせいで、学校教育や日常生活の場で恐ろしい懲罰を受けるざるを得なかったということ。

イ 生まれた地方のことばを蔑まれながらも標準語の使用を避けた人たちが、自分自身の人格までも否定される感覚をもったということ。

ウ 東京語以外の地域語の近代化が遅れたことは話し手自身の責任ではないにもかかわらず、非人道的な侮辱を受け続けたということ。

エ 自身の生まれ育った地域に根付いたことばを貶められた人々は、言語生活においていわれない辛苦を重ねさせられたということ。

オ 権威のある人々が東京語を標準語にしようと主張したことで、地方のことばが無価値であるかのような誤解が生まれたということ。

問六 本文中の空欄 Z には、どんな語句が入るか。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 25)

エ ア
オ イ
ウ

問七 本文から次の一文が省かれている。この文は、本文中の(Ⅰ)～(Ⅴ)のうち、どの箇所へ入るか。最も適当なものを後のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 26)

ア (Ⅰ)
イ (Ⅱ)
ウ (Ⅲ)
エ (Ⅳ)
オ (Ⅴ)

問八 本文の内容に合致するものはどれか。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 27)

ア どんな言語でも話しことばと書きことばには違いが見られるが、開国時の日本語には特に顕著であって、そこにもヨーロッパの諸語に対する日本語の特殊性が見てとれる。

イ 明治時代に地方のことばは東京語と区別され、その後、石坂洋次郎・井上ひさし・立松和平らの地方出身者は辛酸をなめさせられたが、現代でもその状況に変化はない。

ウ 言文一致運動などを通して、日本に暮らす人々にとって共通の言語がつけられたのは、まずは人々に自分が日本国民であるという自覚をもたせるためであった。

エ 日本が近代化を目指した時代、沖縄・青森・栃木などの地方のことばは無秩序な状態であったが、先進的な都会ではことばの統一がすでに進められていた。

オ 上田万年や岡野久胤をはじめとする当時の知識人は地域文化の意義にまったく無理解であり、そのせいで地域独自のことは絶滅の危機に立たされた。

選択問題

文学部文学科の選択問題。

文学部文学科以外の受験者は解答しないこと。

第三問

次の文章は、『枕草子』第九十五段「五月の御精進のほど」の一節である。中宮（宮）に仕える清少納言は、同僚女房を誘い、ほととぎすの声を聴きに出かけた先で知り合いの男性貴族らの接待を受けた。それに続く場面では、清少納言が和歌を詠むことについて自らの考えを述べている。これを読み、後の設問（問一～八）に答えよ。なお、設問の都合で表記を変えた箇所、省略した箇所がある。（解答はすべてマークシートに記入すること。）

問一 本文中の傍線部①～④の助動詞のうち、本文中での文法的意味が他とは違うものはどれか。次のア～エの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は28)

- ア ① イ ② ウ ③ エ ④

問二 本文中の傍線部①～④の動詞の活用の種類は何か。最も適当なものを、次のア～コの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号をマークせよ。同じものを二回以上選んでもよい。(解答番号は29、30、31、32)

- | | | | | | | | |
|---|---------|---|---------|---|---------|---|--------|
| ア | ア行上一段活用 | イ | ヤ行上一段活用 | ウ | ワ行上一段活用 | エ | ラ行四段活用 |
| オ | ラ行上二段活用 | カ | ラ行下二段活用 | キ | カ行変格活用 | ク | サ行変格活用 |
| ケ | ナ行変格活用 | コ | ラ行変格活用 | | | | |

問三 本文中の【Ⅰ】と【Ⅱ】のやりとりから想起されることわざは何か。最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は33)

- ア 急がば回れ イ 知らぬが仏 ウ 豚に真珠 エ 年寄りの冷や水 オ 花より団子

問四 本文中の傍線部A・B・Dの解釈として最も適当なものを、次のア～オの中から一つずつ選び、その記号をマークせよ。(解答番号はA 34、B 35、D 36)

A

- ア ずっと中宮様のおそばにいられるようにしたいという気持ち。
- イ 中宮様にお仕えしている意味が見いだせないという気持ち。
- ウ 中宮様にお仕えすることができそうにないという気持ち。
- エ 中宮様のもとに参上しにくくなってしまふという気持ち。
- オ 中宮様のおそばで歌を詠むことは恥ずかしいという気持ち。

B

- ア 身分相応の言葉で
- イ 細かい点まで含めて
- ウ 思いをこめて丁寧
- エ まじめな言い方で
- オ 伝わりやすい表現で

D

- ア 本当にそのようなことがあったのですか、そんなはずはないでしょう。
- イ 本当にそのようなことがあったのでしょうか。
- ウ 本当にそのようなことがあったとしたら大変です。
- エ 本当にそのようなことがあったのです。
- オ 本当にそのようなことがあったらどうしますか。

問五 本文中の傍線部C」

「とあるが、それはなぜか。その説明として最も適当なものを、

次のア～オの中からそれぞれ一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 37)

ア 清少納言は自分の詠む歌に自信がなく、季節に合わない歌を詠んでしまっているのではないかと心配していたが、中宮からそのようなことはないと思われたから。

イ 清少納言は、自分が下手な歌を詠むことで亡き父の名を汚してしまうことを心配していたが、中宮がその気持ちを汲んで、歌を詠まなくてよいと言ってくれたから。

ウ 清少納言が、優れた歌詠みであった父のような歌を詠まなくてはならないと思いつめていたため、気持ちが悪く着くまで歌を詠まなくてよいと中宮が約束してくれたから。

エ 著名な歌人を父にもつ清少納言は、季節や音数の規則を守った歌を詠みがちであったが、中宮は自分の気持ちに正直な歌を詠むことが大事だとアドバイスしてくれたから。

オ 有名な歌人の子であるため、これまでは清少納言が最初に歌を詠む場面が多かったが、中宮が今後は思いついたときに詠むのでかまわないと言ってくれたから。

問六 本文中の【Ⅲ】と【Ⅳ】の和歌の説明として最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号を

マークせよ。(解答番号は 38)

ア 中宮が清少納言に投げてよこした【Ⅲ】の歌は、著名な歌人を父にもちながら今回の歌会に加わらないでいる清少納言をからかう内容になっており、清少納言も冗談めいた【Ⅳ】の歌を返した。

イ 中宮が詠んだ【Ⅲ】の歌は、清少納言が歌会に加わらないことを責めたてる内大臣を優しくたしなめる意味をもつもので、かばわれた清少納言は【Ⅳ】の歌で中宮への感謝の意を表した。

ウ 清少納言が内大臣に仲間はずれにされていることを知った中宮は、とっさに【Ⅲ】の歌を投げて清少納言の気持ちをうかがったが、清少納言は【Ⅳ】の歌を返すことで問題ないことを示した。

エ 中宮と清少納言の間でこっそり手紙が交わされていることを知った内大臣は、【Ⅲ】と【Ⅳ】の歌が二人の共犯関係を示しているのではないかと考え、その歌を見せるよう清少納言に言った。

オ 清少納言は、中宮が投げてきた【Ⅲ】の歌の返事として【Ⅳ】の歌を詠むことによって、著名な歌人を父親にもつために経験した悲哀を、笑いに昇華させた形で内大臣に伝えることができた。

問七 本文の内容と合致するものはどれか。最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 39)

ア 庚申の夜の歌会では遠慮して歌を詠まないでいた清少納言だが、内大臣に言われて歌を判定する役を引き受けた。
イ 清少納言は、人より優れた和歌を真つ先に詠み出すことが、著名な歌人の娘としての自分の生きがいと考えていた。
ウ 内大臣が歌会で清少納言に歌を詠むことを求めたのは、著名な歌人の娘にふさわしい場を提供するためだった。
エ 清少納言は当初、内大臣に詠歌を求められても断っていたが、中宮に促されて父の名を汚さぬ歌を詠み評判になった。
オ 中宮は、揶揄(やゆ)するような言葉をかけつつも、清少納言の歌に対する考えを尊重しており、両者の絆(きず)がうかがえる。

問八 清少納言の父である清原元輔が編纂にたずさわった作品はどれか。次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 40)

ア 古事記 イ 後撰和歌集 ウ 今昔物語集 エ 百人一首 オ 平家物語

試験科目

	学 部	学科・コース	必須科目	選 択 科 目
大 学	教育学部	児 童 学 科 教 育 学 科	「国語」	「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目選択。
	心理・福祉学部	心 理 学 科 社 会 福 祉 学 科	「国語」	「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目選択。
	文学部	文学科 教養デザインコース	－	選択科目①と選択科目②を受験する。 選択科目① 「国語」、「英語」から1科目選択。 選択科目② (選択科目①との重複は不可) 「国語」、「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」の中から1科目選択。
		文学科 国際文化コミュニケーションコース	「英語」	「国語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」から1科目選択。
		文学科 日本語・日本文学コース	「国語」	「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」から1科目選択。
		文学科 書道文化コース	「書道実技」	「国語」、「英語」から1科目選択。
		文学科 歴史文化コース	－	選択科目①と選択科目②を受験する。 選択科目① 「国語」、「英語」から1科目選択。 選択科目② (選択科目①との重複は不可) 「国語」、「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」の中から1科目選択。
		文学科 図書館情報コース		選択科目①と選択科目②を受験する。 選択科目① 「国語」、「英語」から1科目選択。 選択科目② (選択科目①との重複は不可) 「国語」、「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」の中から1科目選択。
	人間栄養学部	人 間 栄 養 学 科	－	選択科目① 「国語」、「英語」から1科目選択。 選択科目② 「数学Ⅰ、数学A」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目選択。 選択科目①と選択科目②の両方を選択し、受験する。
	看護学部	看 護 学 科	「国語」	「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目選択。
	音楽学部	音 楽 学 科	「国語」	「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目選択。
	短期大学	保 育 科	－	「国語」、「英語」から1科目選択。
		総 合 文 化 学 科	－	「国語」、「英語」、「数学Ⅰ、数学A」から1科目選択。